

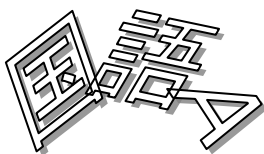
# 全国学力学習状況調査の結果から見える子どもの姿

## ◇シリーズその8◇

昨年度より全国学力学習状況調査の結果を中心に「子どもの姿」をシリーズで掲載しています。帯小HPの学力向上のページでシリーズ7まで進めましたので、今年度はシリーズ8から始めたいと思います。

さて 23 日、今年度の学力状況調査が無事おわりました。翌日、答案のコピーをもとに、全職員で採点を行い、児童の学力について分析しました。速報としてお伝えいたします。

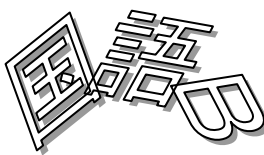
■は問題の傾向、◇は本校児童の特徴的な傾向です。



- 気持ちを情景描写に置き換えるなど、効果を考えた物語の創作力が問われた。
  - 国語辞典を使う力が問われた。
  - 「～たり」の文を「～たり、～たり」と適切な表現にあらためる力が問われた。
  - 新聞の投書から「要旨」を捉えたり「事実と感想、意見」の関係を読む力が問われた。
- ◇はねやはらいに気をつけ、ていねいな文字を書こうとしている子が多い。  
◇漢字の読みはほとんどの児童ができていたが、書きのうち、「予防」のように3年生と5年生にまたがる熟語が書けていなかった。  
◇「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」のような故事成語を文脈に即して使うことができていなかった。



- 割合の問題が重点的に出題された。
  - $100 - 20 \times 4$ が、スキルを問う問題と式の意味を問う問題で2回でた。
  - コンパスを使った作図とその意味（図形の性質）が問われた。
  - 円周の長さを求める式や立体と見取り図の関係が問われた。
- ◇基本的な四則計算や計算のきまり、分数の計算などほとんどの子ができていた。  
◇割合（比較量）や単位当たりの量を求める立式ができない子がいた。  
◇自分で解けばできる問題でも、いくつかの中から正答を探すと迷う傾向がある。



- 科学的な読み物を読んでわかったことをまとめたりや新たな疑問を別の図鑑で調べる方法が問われた。
  - 同じ作者の同じ題材の2つの詩を読み比べる力が問われた。
- ◇長文を最後まで読み通そうとする意欲や、文章に書き表す意欲が見られた。  
◇2文を1文にするなど、文を書き換える力に課題がみられた。  
◇「○文字で」「△という言葉を使って」という条件に合わせた作文に課題がみられた。



- 身長 140 cmの人に最適なはしの長さを考えたり、ノートにグラフを作図したりするなど、日常生活とのつながりを感じさせる問題があった。
  - たたみの敷き方など日本の伝統文化を扱う問題があった。
- ◇記述問題についても無解答にすることなく意欲的に取り組んでいた。  
◇条件が3つあるとき、2つまでしか満たしていないような解答がめだった。  
◇「最小公倍数」という言葉がかけないなど、算数の用語が定着していなかった。

これらの分析を新年度の全学年の指導に生かしていきます。6年生お疲れ様でした！